



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 松本油脂製薬株式会社
 コード番号 4365 URL <http://www.mtmtys.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部副本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 木村 直樹
 (氏名) 山田 正幸
 TEL 072-991-1001

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,024	4.7	1,260	3.4	1,378	33.9	974	33.2
2019年3月期第1四半期	8,423	7.9	1,304	1.2	2,084	39.9	1,458	38.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 747百万円 (48.8%) 2019年3月期第1四半期 1,459百万円 (20.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	301.23	
2019年3月期第1四半期	450.80	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	63,056	52,481	83.0
2019年3月期	63,070	52,867	83.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 52,332百万円 2019年3月期 52,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		350.00	350.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		300.00	300.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,200	1.2	5,300	0.9	5,600	12.5	3,885	14.3	1,200.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	4,512,651 株	2019年3月期	4,512,651 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,276,540 株	2019年3月期	1,276,540 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	3,236,111 株	2019年3月期1Q	3,236,311 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な個人消費等により緩やかな景気回復基調で推移しました。世界経済におきましては、米中貿易摩擦の長期化、中国の景気減速、中東情勢の緊迫化等により、景気の先行きはより一層不透明感を増してきております。

当社グループの重要な販売分野である繊維工業関連におきましては、国内では生産拠点が海外に移転し、また大手顧客の不採算製品の生産中止及び体力強化のための事業構造改革の影響による販売量の減少等もあり、依然として厳しい状態が続いております。一方、海外の繊維工業関連におきましては、長年に亘り生産拡大路線を続けてきた中国繊維産業の設備投資は減速し、各業界内での企業淘汰や中国以外への海外移転等の兆しも見え始めています。

非繊維工業分野におきましては、国内自動車関連では新車販売が軽自動車に加え中・大型車も堅調に推移しておりますが、建築関連は都心の再開発は続くものの東京五輪関連施設の需要には陰りが出てきております。海外自動車関連では中国、インドでの新車販売が急減速し、米国も低迷が続いております。

このような状況下、当社グループでは高品質で価格競争力のある製品の開発を行うとともに、市場ニーズに合致した製品の早期開発に注力してまいりました。また、国内においては、顧客の生産拠点の海外移転への対応を柔軟に行い、海外においては、主力の中国市場以外での拡販にも注力いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高8,024百万円(前年同四半期比4.7%減)、営業利益1,260百万円(前年同四半期比3.4%減)、経常利益1,378百万円(前年同四半期比33.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益974百万円(前年同四半期比33.2%減)となりました。

セグメント情報に記載された区分ごとの状況

① 日本

日本における当第1四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は7,842百万円(前年同四半期比4.7%減)、セグメント利益(営業利益)は1,260百万円(前年同四半期比2.9%減)となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内繊維メーカー各社が縮小傾向の中、これまで堅調に生産を伸ばしていた不織布分野が停滞気味となっております。海外向けでは、化合織油剤、工業用活性剤の販売が不振となりましたが、外部顧客に対する売上高は818百万円(前年同四半期比2.3%増)となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内ではユニフォームを含む衣料分野の生産に陰りが見え始めました。産業資材分野におきましては顧客による生産調整の影響で低迷しました。非繊維工業分野ではトイレタリー分野で一部生産調整がありました。海外向けでは産業用繊維分野、高機能繊維分野において販売数量を伸ばしましたが、外部顧客に対する売上高は4,529百万円(前年同四半期比6.8%減)となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、国内の繊維衣料用加工剤の販売は前年同四半期よりやや減少しましたが、シャンプー、洗剤向けの界面活性剤と、海外向けの化合織油剤が好調であったため、外部顧客に対する売上高は275百万円(前年同四半期比2.8%増)となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維工業関連では、衣料の国内生産は引き続き低迷していますが、新規拡販により前年同四半期を上回る結果となりました。非繊維工業関連では、建築関連及び自動車関連は海外需要の取り込みもあり前年同四半期並みの販売となりました。設備投資関連資材は、半導体市場の減速により前年同四半期を下回る販売となりました。その結果、外部顧客に対する売上高は2,220百万円(前年同四半期比3.7%減)となりました。

② インドネシア

インドネシアにおける当第1四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は181百万円(前年同四半期比5.6%減)、セグメント利益(営業利益)は5百万円(前年同四半期比37.2%減)となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、ナイロン紡糸油剤が低調となりましたが、ポリエステル糸用紡糸油剤・コーニング油剤が順調に推移しました。その結果、外部顧客に対する売上高は96百万円(前年同四半期比1.7%増)となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、昨年以降、国内の工場排水規制の強化で染工場の生産量が低下し、その影響により販売数量が減少しました。その結果、外部顧客に対する売上高は82百万円（前年同四半期比12.4%減）となりました。

陰イオン界面活性剤及び陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、販売金額ともに進展は見られませんでした。外部顧客に対する売上高はそれぞれ2百万円（前年同四半期比51.0%増）及び0百万円（前年同四半期比72.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比13百万円（0.0%）減少して、63,056百万円となりました。流動資産は前期末比871百万円（1.8%）減少の48,818百万円、固定資産は前期末比858百万円（6.4%）増加の14,238百万円となりました。

流動資産減少の主な要因は、有価証券が3,782百万円増加したものの、現金及び預金が4,808百万円前期末より減少したことによるものであります。

固定資産増加の主な要因は、建設仮勘定が1,154百万円前期末より増加したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比372百万円（3.6%）増加の10,575百万円となりました。流動負債は、前期末比388百万円（4.3%）増加の9,466百万円、固定負債は前期末比16百万円（1.5%）減少の1,108百万円となりました。

流動負債増加の主な要因は、未払法人税等が696百万円、賞与引当金が235百万円前期末よりそれぞれ減少したものの、その他が1,295百万円前期末より増加したことによるものであります。

固定負債減少の主な要因は、退職給付に係る負債が8百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前期末比385百万円（0.7%）減少して52,481百万円となりました。純資産減少の主な要因は、その他有価証券評価差額金が269百万円、利益剰余金が157百万円前期末よりそれぞれ減少したことによるものであります。

この結果自己資本比率は、前期末の83.6%から83.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、現時点において2019年5月10日に公表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,617	31,809
受取手形及び売掛金	8,472	8,475
電子記録債権	169	135
有価証券	1	3,784
商品及び製品	2,032	2,087
仕掛品	496	516
原材料及び貯蔵品	1,066	1,080
その他	834	932
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	49,689	48,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,204	7,194
減価償却累計額	△5,256	△5,282
建物及び構築物（純額）	1,947	1,912
機械装置及び運搬具	12,076	12,063
減価償却累計額	△10,372	△10,444
機械装置及び運搬具（純額）	1,703	1,619
土地	529	529
建設仮勘定	898	2,053
その他	1,441	1,418
減価償却累計額	△1,312	△1,295
その他（純額）	128	123
有形固定資産合計	5,208	6,237
無形固定資産		
その他	34	32
無形固定資産合計	34	32
投資その他の資産		
投資有価証券	7,113	6,942
その他	1,032	1,033
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	8,137	7,968
固定資産合計	13,380	14,238
資産合計	63,070	63,056

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,224	6,250
未払法人税等	1,001	305
賞与引当金	296	60
その他	1,555	2,850
流動負債合計	9,078	9,466
固定負債		
退職給付に係る負債	933	924
資産除去債務	107	108
繰延税金負債	15	9
その他	67	65
固定負債合計	1,124	1,108
負債合計	10,203	10,575
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,518	6,518
利益剰余金	46,310	46,153
自己株式	△7,320	△7,320
株主資本合計	51,598	51,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,296	1,027
為替換算調整勘定	△167	△158
退職給付に係る調整累計額	△6	22
その他の包括利益累計額合計	1,122	891
非支配株主持分	146	149
純資産合計	52,867	52,481
負債純資産合計	63,070	63,056

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	8,423	8,024
売上原価	6,099	5,785
売上総利益	2,324	2,239
販売費及び一般管理費	1,019	979
営業利益	1,304	1,260
営業外収益		
受取利息	51	14
受取配当金	40	41
持分法による投資利益	-	16
為替差益	668	-
受取保険金	-	41
その他	28	28
営業外収益合計	789	142
営業外費用		
支払利息	0	0
投資事業組合運用損	2	2
支払手数料	1	1
持分法による投資損失	4	-
為替差損	-	18
その他	0	2
営業外費用合計	9	24
経常利益	2,084	1,378
特別利益		
固定資産売却益	-	0
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	19	-
特別利益合計	19	0
特別損失		
固定資産除却損	20	1
特別損失合計	20	1
税金等調整前四半期純利益	2,083	1,377
法人税、住民税及び事業税	441	289
法人税等調整額	180	111
法人税等合計	622	400
四半期純利益	1,460	976
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,458	974

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	1,460	976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△269
為替換算調整勘定	△31	5
退職給付に係る調整額	0	3
持分法適用会社に対する持分相当額	23	31
その他の包括利益合計	△1	△228
四半期包括利益	1,459	747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,468	744
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	8,230	192	8,423
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60	3	64
計	8,291	196	8,487
セグメント利益	1,297	8	1,306

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,306
棚卸資産の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	1,304

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	7,842	181	8,024
セグメント間の内部売上高 又は振替高	69	2	71
計	7,911	184	8,096
セグメント利益	1,260	5	1,265

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,265
棚卸資産の調整額	△5
四半期連結損益計算書の営業利益	1,260